避難誘導と避難路について

質問　浸水区域でのイベントや各種大会が開催されているが、避難経路などが示されないのは問題と思うがどうか。

答弁　防災機能が整備されていないことから、主催者に、参加者への避難場所・経路の周知を事前に行うよう指導していく。

質問　シンボルロードの植栽に、ハナミズキを植えてほしいとの市民団体の活動があるが、どのような所感を持っているか。

答弁　シンボルロードは、避難を誘導する象徴的な避難路であり、それにふさわしい植栽をしたい。有志による「ハナミズキの会」の活動も承知している。時期が来たなら、その声を踏まえながら検討する。

ハナミズキの植栽例

大坪涼子
（日本共産党）

新しい団地に集会所や消防屯所を

質問　集団移転促進事業による新しくできる団地に公民館や消防屯所などを整備すべきではないか。

答弁　整備計画では公民館や消防屯所の用地を造成し、公園、集会所、防火水槽やゴミ置き場等の整備を予定している。

質問　災害公営住宅には物置も必要ではないか。

答弁　最低限の物置を1戸ごとに配備したい。

下和野会館（高田町）

県立病院再建と保健福祉総合センターの構想は

質問　岩手県は8月に県立高田病院再建方針を示したが、規模は震災前の70床から「50～60床」になり、救急体制は夜間・休日の対応をやめ「診療時間内」になった。震災前より後退している。市長の考えはどうか。

答弁　震災前の規模以上の整備を強く要請してきた。その要請との違いがあるが、再建される病院は、療養環境や機能設備に十分配慮し、地域の特性を生かした設計方針になるよう、「市民の会」や関係者と連携し引き続き県と意見交換していく。

質問　県立病院に隣接して整備される保健福祉総合センターは、高齢者の心のよりどころとなるような新しいイメージの施設にすべきではないか。

答弁　県立高田病院及び保健福祉総合センターについては、今後、医療・保健・福祉・介護等の一体的な機能を持った集中化エリアとして整備していく。

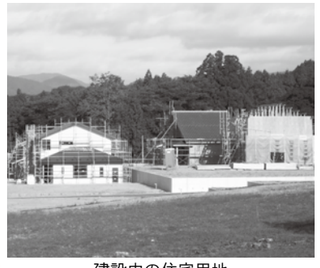
市独自の住宅再建支援の利用状況は

質問　本市独自の住宅再建支援策の利用状況はどうか。

答弁　敷地造成費で164件、8159万円、水道工事費で98件、5014万円、道路工事費で15件、2420万円補助し、今年度創設した住宅ローンの利子相当額で58件、944万円、移転費用で、212件、2120万円、住宅再建支援で302件、2億9725万円補助している。

質問　現在の国の支援制度は「個人財産の形成には補助しない」という考えから、生活支援金は300万円になっている。500万円への増額など、国への働きかけはどうか。

答弁　当市の復興の状況を勘案すると被災者生活再建支援法は、なお一層の充実が求められる。この間も機会を捉えて県へ支援の充実を求めてきたが、県も国に対し「被災者生活再建支援金」の支給額の増額などの要望を行っている。


建設中の住宅用地

交通安全対策について

質問　買い物などで危険を感じている市民がいるが、交通安全対策をどうするのか。

答弁　米崎町の国道45号線とアップルロードの交差点に信号機設置は決定したが、竹駒町の国道340号廻館橋交差点は道路改良に合わせて信号機の設置を検討するものと伺っている。

質問　暫定的でも、交通を緩和する道路路面の舗装と改修が必要と思うがどうか。

菅野定
（魁）

交通量の多いアップルロード

答弁　大型の工事車両の通行が少なく見込まれる時期に舗装の打替え等を行う。

河川堤防・用水路の豪雨対策は

質問　矢作川の洪水の氾濫を防ぐ堤防の補強はどうか。

答弁　県は矢作川流域の洪水対応を検討するとのことで、市は県に対し河川堤防の補強工事を求め、必要な情報提供をしていく。

質問　今後、市内各地の河川・用水路の土砂撤去事業による豪雨対策をどう考えるか。

答弁　横田町狩集地内などを緊急に土砂撤去するものとし概ね完了した。今後は豪雨や災害に備え、通常時の土砂の堆積状況を注視し、適切に判断し堆積土砂を撤去する。

質問　住民の力により、緊急性がある道路の流出土砂を撤去したと聞くが、市はどう考え、その方々に対応したのか。

答弁　矢作町堂前・清水、横田町志田実地区においては住民の協力を得て撤去していただいた。それは二次的被害防止の対応に繋がるので感謝している。その作業に対し、重機の借り上げ料のお礼として少額ではあるがお支払をしている。

奇跡の一本松周辺の整備は

質問　奇跡の一本松駐車場近くに横断歩道の設置はどうか。

答弁　大船渡警察署との協議では、仮設駐車場なので許可が難しい。現在、この一本松付近は土地区画整理事業や防潮堤の復旧工事、さらに気仙川水門の建設工事により、見学者の安全のために駐車場内誘導と歩道の交通誘導をしている。

質問　メモリアル公園の構想として、名前を刻んだ慰霊碑の設置をどう考えるか。

答弁　震災復興祈念公園の構想会議において「犠牲となった全ての生命（いのち）への、追悼と鎮魂」が挙げられており、9月末からの会議には委員の一人として市長も参加するので市民皆様の声も反映させて計画の事業化に向け検討するとしている。

仮設駐車場（奇跡の一本松）

佐竹強
（福幸の会）

消防団再建を

質問　消防団の屯所の確保要望についてどのように対応するのか。

答弁　分団員が有事の際に参集、待機できる施設として分団全体の詰所を計画し、条件が整い次第早急に事業着手できるよう対応する。

質問　消防団をどのように再建していくのか。

答弁　陸前高田市消防団の現状は非常に厳しい。今後、高台移転などにより徐々に団員の住まいも落ち着くと思われるので、管轄区域の見直しを含め消防団、消防後援会、地域の方々と協議していきたい。団員の皆さんが活動しやすいようにしていくことが市民の安心安全の第一歩と心していきたい。

消防屯所（高田分団）

三陸復興国立公園と奇跡の一本松の表示は

質問　奇跡の一本松の所在場所は三陸復興国立公園なのか。そうであればはっきり表示すべきではないか。

答弁　奇跡の一本松が立っている場所は国立公園の区域内であり、奇跡の一本松の表示は今後検討していきたい。

質問　広田半島の国立公園の案内板は今後どうなるのか。

答弁　環境省では公園名称の変更を受け順次案内板の書き換えを予定している。県が設置した看板も書き換えの予定と伺っている。

大隅交差点へ信号機の設置は

質問　大隅交差点へ信号機を設置するか、交差点の改良の考えはどうか。

答弁　信号機の設置については、公安委員会では交差点の見通しが悪い、縦断勾配がきついなどの理由により難しいとのことである。交差点付近の改良は三陸縦貫道の開通後における農免道の利用状況などを参考にしながら検討をしていきたい。

大隅交差点（高田町）

議会を傍聴しませんか。

次の定例会は12月上旬に開会予定です。

また、災害ＦＭ（80.5MHz）で、本会議・特別委員会を放送しています。